

## 成果指標一覧

---

- 数値目標：6つの基本目標にそれぞれ数値目標を設定しました。
- K P I：各具体的施策については、施策（取組）の達成度を客観的に効果検証するための重要業績評価指標（K P I）を設定しました。
- 補助指標：住民アンケート調査結果など毎年実績値が出せない指標を補完するために補助指標を設定しました。

## 基本目標 1 住民に開かれ自立するまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標 1 (1) 月に一回以上地域活動に参加する人の割合	住民アンケート調査で「月に1回以上地域活動に参加した」と回答した人の割合。令和10年に1/3の参加を目指す。	24.9 % H29(2017)年	18.4 % R5(2023)年	33.0 % R10(2028)年
1 (1)補助指標 自治会加入率	各年度末時点の自治会加入世帯の割合。令和4年度加入率を維持する。	90.4 % H29(2017)年度	85.0 % R4(2022)年度	85.0 % R10(2028)年度

### 基本的方向 1 協働の仕組みの構築

#### 具体的施策 1 参画・協働

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 1-1 協働によるまちづくりについて推進すべきと考える人の割合	住民アンケート調査で「協働によるまちづくり」について、「推進すべき」「ある程度推進すべき」と回答した人の割合。令和10年に80%を目指す。	69.3 % H29(2017)年	71.2 % R5(2023)年	80.0 % R10(2028)年
1-1 補助指標 まちづくり協議会設立数 [累計]	自治会や住民活動団体で構成する地域課題解決のための組織「まちづくり協議会」について、早期設立を目指す。	—	0 団体 R6(2024)年度	3 団体 R10(2028)年度

#### 具体的施策 2 広報広聴・情報公開

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 2-1 町公式サイトへの年間アクセス数	コロナ禍の影響で令和10年度における従来の目標値(185,000件)を上回ったため、従来の目標値の2倍の370,000件を目指す。	154,068 件 H29(2017)年度	316,752 件 R4(2022)年度	370,000 件 R10(2028)年度
KPI 2-2 町公式SNSのフォロワー数 [累計]	コロナ禍の影響で令和10年度における従来の目標(10,000件)を上回ったため、従来の目標値の2倍の20,000件を目指す。	3,374 件 H29(2017)年度	16,197 件 R4(2022)年度	20,000 件 R10(2028)年度
KPI 2-3 行政の透明度に関する満足度	住民アンケート調査で「行政の透明性」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。令和10年において40%を目指す。	20.4 % H29(2017)年	25.4 % R5(2023)年	40.0 % R10(2028)年

## 基本的方向2 お互いを尊重するまちづくり

### 具体的施策3 人権

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 3-1 人権学習懇談会の参加者数 [3か年計]	3年間で町内を一巡する人権学習懇談会について、令和8～10年度の3年間の参加者数500人（実績値の概ね1.5倍）を目指す。 ※令和2(2020)～令和4(2022)年度はコロナ禍のため中止	325人 H27(2015)～ H29(2017)年度	179人 H30(2018) ・R1(2019) ・R5(2023)年度	500人 R8(2026)～ R10(2028)年度
KPI 3-2 人権啓発・人権教育に関する重要度	住民アンケート調査で「人権啓発・人権教育」について、「とても重要」「ある程度重要」と回答した人の割合。令和10年において50%を目指す。	37.5% H29(2017)年	38.7% R5(2023)年	50.0% R10(2028)年
3-2 補助指標 差別をなくす町民集会参加人数	差別をなくす町民集会について、令和10年度において参加人数200人を目指す。	145人 R1(2019)年度	120人 R5(2023)年度	200人 R10(2028)年度

### 具体的施策4 男女共同参画

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 4-1 25～44歳女性の就業率	国勢調査結果を基に算出する25～44歳女性の就業率について、令和10年度において80%を目指す。	67.8% H29(2017)年度	73.4% R2(2020)年度	80.0% R10(2028)年度
4-1 補助指標① 女性デジタル人材育成講座受講者数 [累計]	女性デジタル人材育成講座について、令和10年度までに累計75人の受講者数を目指す。	—	15人 R5(2023)年度	75人 R10(2028)年度
4-1 補助指標② 女性デジタル人材育成講座による就業・起業家数 [累計]	女性デジタル人材育成講座受講からの就業・起業家数について、令和10年度までに累計40人を目指す。	—	0人 R5(2023)年度	40人 R10(2028)年度
4-1 補助指標③ 「まっち☆ジョブ王寺」女性の就職件数 [累計]	「まっち☆ジョブ王寺」での女性の就職件数について、毎年約120件を目指す。	—	115件 R4(2022)年度	715件 R10(2028)年度
KPI 4-2 町が設置する審議会等における女性委員の割合	地方自治法第202条の3に基づいて設置する審議会等における女性委員の割合について、1年1ポイント以上増加させ、令和10年度において35%を目指す。	22.1% H29(2017)年度	27.4% R5(2023)年度	35.0% R10(2028)年度

### 基本的方向3 健全で効率的な行財政運営

#### 具体的施策5 行政サービスの提供

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 5-1 電子申請利用率	施設予約等の電子申請利用率について、令和10年度において60%を目指す。	21.5 % R1(2019)年度	53.3 % R4(2022)年度	60.0 % R10(2028)年度
KPI 5-2 電子申請が可能な行政サービス数	電子申請が可能な行政サービスについて、令和10年度において50件を目指す。	—	31件 R4(2022)年度	50件 R10(2028)年度
KPI 5-3 デジタルデバイド対策事業参加者数〔累計〕	デジタルデバイド対策事業について、毎年約110人の参加者数を目指す。	—	109人 R4(2022)年度	770人 R10(2028)年度

#### 具体的施策6 行政経営

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 6-1 行財政運営に関する満足度	住民アンケート調査で「行財政運営」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。令和10年には35%を目指す。	23.1 % H29(2017)年	28.1 % R5(2023)年	35.0 % R10(2028)年
6-1 補助指標 将来負担比率	全国平均以下の水準を維持する。 (R3(2021)年度の全国平均は15.4%)	-132.5 % H29(2017)年度	-98.5 % R3(2021)年度	全国平均以下 R10(2028)年度
KPI 6-2 経常収支比率	全国平均以下の水準を目指す。 (R4(2022)年度の全国平均は92.2%)	97.2 % H29(2017)年度	95.3 % R4(2022)年度	全国平均以下 R10(2028)年度

#### 具体的施策7 広域連携

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 7-1 市町村間の広域連携によって進めた事業数〔累計〕	「観光振興」「防災」「医療福祉」「その他公共施設の相互利用など」の分野で概ね各2事業の広域連携を進め、令和10年度で18件を目指す。	10件 H29(2017)年度	15件 R4(2022)年度	18件 R10(2028)年度

## 基本目標 2 快適で暮らしやすいまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標 2(1) 人口の社会増[累計]	町人口ビジョンにおける町独自人口シミュレーションに基づき、人口の社会増(転入者数-転出者数)±0の維持を目指す。	—	9人 R2(2020)~ R4(2022)年度	±0 を維持 R10(2028)年度

### 基本的方向4 都市基盤の充実

#### 具体的施策8 土地利用

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 8-1「王寺町立地適正化計画」において王寺駅周辺区域に立地誘導を図るとしている生活利便施設数	生活利便施設として「産婦人科を有し救急夜間診療が可能な総合病院(概ね200床以上)及び店舗面積が1,500㎡以上の食料品を扱う店舗」について、令和10年度において4施設を目指す。	2施設 H29(2017)年度	2施設 R4(2022)年度	4施設 R10(2028)年度
KPI 8-2 町東部の市街化調整区域のうち、都市的な土地利用の割合	王寺町都市計画マスタープランにおける東部地域(本町、畠田地区及び葛下地区の一部)の市街化調整区域において都市的に利用されている土地の割合。令和10年度までに畠田1丁目、2丁目地区の市街化調整区域において商業施設や事務所の誘致を図ることにより、町東部地域の市街化調整区域全体の51.0%を都市的な土地利用に供することを旨とする。	12.0% H29(2017)年度	13.0% R4(2022)年度	51.0% R10(2028)年度

#### 具体的施策9 住宅環境

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 9-1 戸建て空き家の数	住生活基本計画(全国計画)の推計に準拠し、10年間で町内の空き家戸数の伸びを1.57倍と見込んだうえで、空き家数の20%抑制を図る。令和10年度・423戸の予測を338戸とすることを旨とする。	270戸 H29(2017)年度	293戸 R4(2022)年度	338戸 以下 R10(2028)年度
KPI 9-2 住宅の耐震化率	王寺町耐震改修促進計画(令和4年4月改定)に基づき、令和10年度において、住宅の耐震化率95.0%を目指す。	—	89.7% R2(2020)年度	95.0% R10(2028)年度

#### 具体的施策10 上下水道

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 10-1 管の直径250mm以上の基幹配水管路の耐震化率	王寺町管路更新計画に基づき、令和10年度において、59.5%を目指す。	7.8% H29(2017)年度	25.8% R4(2022)年度	59.5% R10(2028)年度
KPI 10-2 下水道水洗化率	下水道整備区域内において、令和10年度に97.7%の下水道水洗化率を目指す。	95.3% H29(2017)年度	96.9% R4(2022)年度	97.7% R10(2028)年度

## 基本的方向5 交通ネットワークの整備

### 具体的施策11 道路

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 11-1 都市計画道路の整備率	奈良県及び王寺町の都市計画道路整備の進捗を図り、令和10年度において整備率78%を目指す。	72.0 % H29(2017)年度	72.0 % R4(2022)年度	78.0 % R10(2028)年度
KPI 11-2 生活道路の整備に関する満足度	住民アンケート調査で「生活道路の整備」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。令和10年において40%を目指す。	27.2 % H29(2017)年	32.5 % R5(2023)年	40.0 % R10(2028)年
11-2 補助指標 道路維持補修に関する住民要望対応率	道路維持補修に関する住民要望について、毎年度100%の対応を目指す。	100.0 % H29(2017)年度	100.0 % R4(2022)年度	100.0 % R10(2028)年度

### 具体的施策12 公共交通

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 12-1 公共交通の整備に関する満足度	住民アンケート調査で「公共交通の整備」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。令和10年において60%を目指す。	47.5 % H29(2017)年	41.1 % R5(2023)年	60.0 % R10(2028)年
12-1 補助指標 国道168号の拡幅に伴う新規バス停上屋設置件数【累計】	国道168号の整備の進捗に合わせて、泉の広場・畠田・畠田8丁目の3か所にバス停上屋設置を目指す。	—	0件 R6(2024)年度	3件 R10(2028)年度
KPI 12-2 畠田駅～馬見丘陵公園へのバスの路線数【累計】	令和10年度までに、畠田駅～馬見丘陵公園へのバス路線の新設を目指す。	—	0路線 R6(2024)年度	1路線 R10(2028)年度

## 基本的方向6 環境への配慮

### 具体的施策13 環境保全

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 13-1 CCC活動参加団体数	水と緑の町づくり町民運動として、町内の公園等の清掃や除草等を自発的に行う団体(CCC)の活動への参加団体数。令和10年度において、1つの自治会あたり概ね2団体の登録を目指す。	83 団体 H29(2017)年度	91 団体 R4(2022)年度	100 団体 R10(2028)年度
KPI 13-2 クリーンキャンペーン1回当たりの産業廃棄物発生量	年間4回実施のクリーンキャンペーンにおいて発生する産業廃棄物について、令和10年度において、1回当たり15.0tに抑えることを目指す。	21.0 t H29(2017)年度	25.0 t R4(2022)年度	15.0 t R10(2028)年度

### 具体的施策14 循環型社会

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 14-1 一般家庭における1人1日当たりの可燃ごみ排出量	一般家庭における1人1日当たりの可燃ごみ排出量について、令和元年度の実績値(570g)からマイナス100gを目標とする。	570 g R1(2019)年度	531 g R4(2022)年度	470 g R10(2028)年度
KPI 14-2 ごみのリサイクル率	令和10年度において第5次奈良県廃棄物処理計画における、令和9年度目標(19.3%)を目指す。	16.3 % R1(2019)年度	16.9 % R4(2022)年度	19.3 % R10(2028)年度

## 基本的方向7 水と緑の保全と創出

### 具体的施策15 都市景観

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 15-1 都市景観に関する満足度	住民アンケート調査で「都市景観」について、「とても満足している」「ある程度満足している」と回答した人の割合。令和10年において50%を目指す。	20.0 % H29(2017)年	44.9 % R5(2023)年	50.0 % R10(2028)年
15-1 補助指標 【KPI9-1再掲】 戸建て空き家の数	住生活基本計画(全国計画)の推計に準拠し、10年間で町内の空き家戸数の伸びを1.57倍と見込んだうえで、問題となる可能性のある空き家数の20%抑制を図る。令和10年度・423戸の予測を338戸とすることを旨とする。	270 戸 H29(2017)年度	293 戸 R4(2022)年度	338 戸 以下 R10(2028)年度
KPI 15-2 国道168号の無電柱化延長	国道168号の整備の進捗に合わせ、令和10年度までに、2.29km(進捗率100%)の無電柱化を図る。	0.0 km H29(2017)年度	0.0 km R4(2022)年度	2.29 km R10(2028)年度



## 基本目標 3 安全で安心に暮らせるまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標 3(1) 防災訓練を実施している自主防災組織の数	令和 10 年度までにすべての自治会で自主防災組織が設立されたうえで、毎年すべての自主防災組織で防災訓練が実施され、以後継続的に行っていくことを目指す。	8 団体 H29(2017)年度	4 団体 R4(2022)年度	54 団体 R10(2028)年度
数値目標 3(2) 防災士資格者数	令和 10 年度において、防災士資格の保有者数 150 人を目指す。	103 人 H30(2018)年度	137 人 R4(2022)年度	150 人 R10(2028)年度

### 基本的方向 8 地域防災の充実

#### 具体的施策 16 防災体制

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 16-1「王寺町安全・安心メール」及び「LINE 公式アカウント」登録者数	コロナ禍の影響で現状値が令和 10 年度における従来の目標 (10,000 人) を上回ったため、従来の目標値の 2 倍の 20,000 人を目指す。	2,890 人 (メールのみ) H29(2017)年度	15,506 人 メール:4,838 人 LINE:10,668 人 R4(2022)年度	20,000 人 R10(2028)年度

#### 具体的施策 17 避難行動支援

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 17-1「個別避難計画」を作成した団体数 [累計]	令和 10 年度までにすべての自治会において「個別避難計画」が作成されることを目指す。	0 団体 H29(2017)年度	5 団体 R4(2022)年度	54 団体 R10(2028)年度

#### 具体的施策 18 消防・救急体制

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 18-1 王寺町消防団の定員に対する充足率	王寺町消防団の定員(130 人)に対する充足率 100%を維持することを目指す。	96.9 % H29(2017)年度	100.0 % R4(2022)年度	100.0 % R10(2028)年度
K P I 18-2 救命講習会の年間受講者数	令和 10 年度までに、毎年年間 1,000 人が受講することを目指す。	365 人 H29(2017)年度	181 人 R4(2022)年度	1,000 人 R10(2028)年度

### 基本的方向 9 日常生活の安全確保

#### 具体的施策 19 防犯・交通安全

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 19-1 刑法犯年間認知件数 (延べ)	西和 7 町で最も安全な町を目指す。(コロナ禍前の西和 7 町の平均認知件数 88 件)	155 件 H29(2017)年	88 件 R4(2022)年	88 件 R10(2028)年
K P I 19-2 町内で発生した交通事故のうち高齢者が関係した事故の割合	令和 10 年において、平成 29 年における県平均(35.6%)の水準を約 5%下回ることを目指す。	43.7 % H29(2017)年	33.2 % R4(2022)年	30.0 % 以下 R10(2028)年



## 基本目標4 健やかに暮らせるまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標4(1) 健康寿命の県内市町村における順位【男性】	健康寿命(65歳の平均自立期間)について、令和10年において、男女ともに奈良県内市町村1位を目指す。	5位 (18.99年) H28(2016)年	15位 (18.65年) R2(2020)年	1位 R10(2028)年
数値目標4(2) 健康寿命の県内市町村における順位【女性】		28位 (20.29年) H28(2016)年	19位 (20.92年) R2(2020)年	1位 R10(2028)年

### 基本的方向10 高齢者支援の充実

#### 具体的施策20 高齢者福祉

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 20-1 65歳以上の介護保険認定者における「日常生活自立度Ⅱ」以上の認知症の人の割合	令和10年度においてその年の国全体の予測(14.0%)を2%下回ることを目指す。	9.4% H29(2017)年度	9.7% R4(2022)年度	12.0%以下 R10(2028)年度
KPI 20-2 認知症サポーター養成講座年間受講者数	「認知症サポーター養成講座」(キッズ除く)について、令和10年度において、受講者数45人を目指す。	0人 R1(2019)年度	26人 R5(2023)年度	45人 R10(2028)年度

#### 具体的施策21 介護保険

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 21-1 各種介護予防教室の年間受講者数(延べ)	介護予防のために実施している各種教室等の年間延べ参加者数を、令和10年度に7,000人とすることを目指す。	2,270人 H29(2017)年度	1,141人 R4(2022)年度	7,000人 R10(2028)年度
KPI 21-2 65歳以上(介護保険第1号被保険者)の要支援・要介護認定者の割合	「王寺町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画」の令和7年度予測値(21.6%)を令和10年度において維持することを目指す。	18.0% H29(2017)年度	19.4% R4(2022)年度	21.6%以下 R10(2028)年度

### 基本的方向11 障がい者支援の充実

#### 具体的施策22 障がい者福祉

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 22-1 福祉施設における就労から一般就労の年間移行者数	平成29年度実績値の2倍を超えた現状値の水準を維持することを目指す。	2人 H29(2017)年度	5人 R4(2022)年度	5人 R10(2028)年度
KPI 22-2 障がいに関わる一般相談の件数	障がいに関わる一般相談について、令和10年度において703件を目指す。	—	419件 R4(2022)年度	703件 R10(2028)年度
KPI 22-3 手話奉仕員登録者数	手話奉仕員養成講座受講者の手話奉仕員登録を進め、令和10年度において、登録者数80人を目指す。	18人 H29(2017)年度	46人 R4(2022)年度	80人 R10(2028)年度

## 基本的方向 12 健康づくりの推進

### 具体的施策 23 健康づくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
<b>KPI</b> 23-1 [マイアセスメント調査] 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】	令和10年度において、国の「健康日本21(第二次)」における目標値(男36%)を上回り、40%以上とすることを目指す。	12.4 % H27(2015)年度	14.8 % R1(2019)年度	40.0 % R10(2028)年度
<b>23-1 補助指標</b> [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【男性】	生活習慣病予防のために町で実施している特定健康診査の質問項目。令和10年度において、現状値の1.1倍(59.6%)にすることを目指す。	53.8 % H30(2018)年度	54.2 % R3(2021)年度	59.6 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-2 [マイアセスメント調査] 1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】	令和10年度において、国の「健康日本21(第二次)」における目標値(女33%)を上回り、40%以上とすることを目指す。	13.3 % H27(2015)年度	10.1 % R1(2019)年度	40.0 % R10(2028)年度
<b>23-2 補助指標</b> [特定健康診査]1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上1年以上継続して実施している人の割合【女性】	生活習慣病予防のために町で実施している特定健康診査の質問項目。令和10年度において、現状値の1.1倍(45.4%)にすることを目指す。	45.2 % H30(2018)年度	41.3 % R3(2021)年度	45.4 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-3 がん検診の受診率(胃がん)	令和10年度において、現状値の約2倍(7.6%)の受診率を目指す。	5.5 % H30(2018)年度	3.9 % R3(2021)年度	7.6 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-4 がん検診の受診率(肺がん)	令和10年度において、現状値の約2倍(14.1%)の受診率を目指す。	6.5 % H30(2018)年度	7.1 % R3(2021)年度	14.1 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-5 がん検診の受診率(大腸がん)	令和10年度において、現状値の約2倍(13.3%)の受診率を目指す。	7.9 % H30(2018)年度	6.8 % R3(2021)年度	13.3 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-6 がん検診の受診率(子宮がん)	令和10年度において、現状値の約2倍(16.1%)の受診率を目指す。	9.7 % H30(2018)年度	8.3 % R3(2021)年度	16.1 % R10(2028)年度
<b>KPI</b> 23-7 がん検診の受診率(乳がん)	令和10年度において、現状値の約2倍(24.6%)の受診率を目指す。	15.2 % H30(2018)年度	12.6 % R3(2021)年度	24.6 % R10(2028)年度

## 基本的方向 13 地域で支え合うまちづくり

### 具体的施策 24 地域福祉

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 24-1 サロンの箇所数	令和 10 年度において、概ね 2 自治会につき 1 箇所のサロンが開催されることを目指す。	13 箇所 H29(2017)年度	18 箇所 R4(2022)年度	25 箇所 R10(2028)年度
24-1 補助指標 社協主催のサロン参加者数	町社会福祉協議会主催のサロンについて、令和 10 年度において、参加者数 1,500 人を目指す。	1,201 人 R1(2019) 年度	968 人 R4(2022)年度	1,500 人 R10(2028)年度
KPI 24-2 介護(生活支援)ボランティア登録者数	介護(生活支援)ボランティア養成講座受講者のボランティア登録を進め、令和 10 年度において、登録者数 90 人を目指す。	13 人 R1(2019) 年度	13 人 R4(2022)年度	90 人 R10(2028)年度

### 具体的施策 25 国民健康保険

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 25-1 国民健康保険被保険者の年間 1 人当たり医療費	年間 1 人当たり医療費が 1 年で 4.41% 伸びる見込みのところを「奈良県国民健康保険運営方針」に準拠し、1 年で 2.54% の伸びに抑制することを目指す。	405,827 円 H29(2017)年度	416,717 円 R4(2022)年度	519,215 円 以下 R10(2028)年度
KPI 25-2 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率	国民健康保険被保険者の特定健康診査について、令和 10 年度において、受診率 58.0% を目指す。	40.1 % H29(2017)年度	46.3 % R4(2022)年度	58.0 % R10(2028)年度

## 基本目標 5 人を育みみんなが学べるまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標 5(1) 合計特殊出生率	町人口ビジョンにおける町独自人口シミュレーションに基づき、令和12年において、合計特殊出生率 2.10 を目指す。	1.71 H30(2018)年	1.46 (速報値) R4(2022)年	2.10 R12(2030)年

### 基本的方向 14 子ども・子育て支援の充実

#### 具体的施策 26 子育て支援

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 26-1 子育て広場の年間利用者数(延べ)	子育て広場の年間利用者数について、令和10年度において、16,000人を目指す。	18,936人 H29(2017)年度	6,412人 R4(2022)年度	16,000人 R10(2028)年度
KPI 26-2「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【就学前児童を持つ保護者】	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査で、子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合。限りなく0に近づけることを目指す。	7.3% H25(2013)年度	1.4% H30(2018)年度	0.0% R10(2028)年度
26-2 補助指標 「日常の育児の相談相手」がない保護者の割合(乳幼児健診)	4か月、1歳6か月、3歳6か月児健診問診票で「日常の育児の相談相手」がないと答えた保護者の割合。限りなく0に近づけることを目指す。	—	1.0% R4(2022)年度	0.0% R10(2028)年度
KPI 26-3「子育てをする上で気軽に相談できる人や場所」がない保護者の割合【義務教育学校1~6年生(小学生)児童を持つ保護者】	義務教育学校1~6年生(小学生)児童を持つ保護者へのアンケート調査で、子育てをする上で気軽に相談できる人や場所の有無について「いない」「ない」と答えた保護者の割合。限りなく0に近づけることを目指す。	4.2% H25(2013)年度	1.7% H30(2018)年度	0.0% R10(2028)年度

#### 具体的施策 27 母子保健

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 27-1 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【4か月児の親】	4か月児健診時の問診票で「王寺町で子育てをしたい」と回答した人の割合。「第4次王寺町母子保健計画」の目標値を維持し、令和10年度において98%を目指す。	95.0% H29(2017)年度	97.4% R4(2022)年度	98.0% R10(2028)年度
KPI 27-2 王寺町で子育てをしたいと思う親の割合【3歳6か月児の親】	3歳6か月児健診時の問診票で「王寺町で子育てをしたい」と回答した人の割合。「第4次王寺町母子保健計画」の目標値を上回り、限りなく100%に近づけることを目指す。	98.7% H29(2017)年度	96.0% R4(2022)年度	100.0% R10(2028)年度
KPI 27-3 夜10時までに寝る生活リズムを持つ1歳6か月児の割合	健診時の問診票で回答した人の割合。「第4次王寺町母子保健計画」の目標値(令和9年度・90%)を維持することを目指す。	82.1% H29(2017)年度	85.3% R4(2022)年度	90.0% R10(2028)年度

## 具体的施策 28 保育環境

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 28-1 保育園入所待機児童数	現状値の0人を維持する。	0人 H29(2017)年度	0人 R5(2023)年度	0人 R10(2028)年度
KPI 28-2 保育サービスに関する満足度	就学前児童を持つ保護者へのアンケート調査で「保育サービス全般」について、「満足している」と回答した人の割合。令和10年度において、保護者の半数が満足とを感じることを目指す。	30.1% H25(2013)年度	46.3% H30(2018)年度	50.0% R10(2028)年度
28-2 補助指標 保育サービスに関する満足度(3歳6か月児健診時アンケート)	3歳6か月児健診時のアンケートで保育サービスに関して満足していると答えた保護者の割合。令和10年度において85%を目指す。	—	76.5% R5(2023)年度	85.0% R10(2028)年度

## 基本的方向 15 学校教育の充実

### 具体的施策 29 就学前教育

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 29-1 「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」と思う保護者の割合	保護者アンケートで「子どもをこの幼稚園に通わせてよかった」という設問に「そう思う」と回答した人の割合。令和10年度において100%を目指す。	85.9% H29(2017)年度	78.7% R4(2022)年度	100.0% R10(2028)年度
KPI 29-2 「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」と思う保護者の割合	保護者アンケートで「子どもは幼稚園で自分らしさを出し、思っていることが言える」という設問に、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した人の割合。令和10年度において、100%を目指す。	90.7% H29(2017)年度	92.1% R4(2022)年度	100.0% R10(2028)年度

### 具体的施策 30 学校教育

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 30-1 全国学力・学習状況調査(9年生(中3)) 平均正答率【国語】	義務教育学校9年生(中学3年生)を対象に実施される「全国学力・学習状況調査」における各教科の平均正答率。平均正答率全国1位の都道府県の値を上回ることを目指す。	77 % R1(2019)年度	71 % R5(2023)年度	平均正答率 全国1位の 都道府県の 値を上回る R10(2028)年度
KPI 30-2 全国学力・学習状況調査(9年生(中3)) 平均正答率【数学】		66 % R1(2019)年度	53 % R5(2023)年度	
KPI 30-3 全国学力・学習状況調査(9年生(中3)) 平均正答率【英語】		60 % R1(2019)年度	50 % R5(2023)年度	
30-3 補助指標 総合学力調査(9年生(中3))IRT平均到達スコア【英語】	総合学力調査【英語】のIRT平均到達スコア(IRT「項目反応理論」に基づいて学習到達度を0~100の値で示したものの)70.0を目指す。	—	60.3 R5(2023)年度	70.0 R10(2028)年度
KPI 30-4 全国学力・学習状況調査(9年生(中3))の「規範意識」	義務教育学校9年生(中学3年生)を対象に実施される「全国学力・学習状況調査」の「規範意識」を問う質問「はじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」で、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した生徒の割合。令和10年度において、100%を目指す。	95.4 % R1(2019)年度	96.5 % R5(2023)年度	100.0 % R10(2028)年度
KPI 30-5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【男子】	義務教育学校8年生(中学2年生)を対象に実施される「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における平均点。平均点全国1位の都道府県の値を上回ることを目指す。	45.30 % R1(2019)年度	42.91 % R4(2022)年度	平均点全国 1位の都道 府県の値を 上回る R10(2028)年度
KPI 30-6 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(8年生(中2))における平均点【女子】		54.60 % R1(2019)年度	52.56 % R4(2022)年度	

### 基本的方向 16 生涯学習の充実

#### 具体的施策 31 生涯学習

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 31-1 生涯学習施設の利用者数	やわらぎ会館、いずみスクエア、南公民館の利用者数と地域交流センターにおける生涯学習事業の年間利用者数について、令和10年度において平成29年度実績値から20%増を目指す。	104,149人 H29(2017)年度	104,478人 R4(2022)年度	125,000人 R10(2028)年度
KPI 31-2 住民1人当たりの図書貸出冊数	令和10年度において、平成29年度実績値から倍増を目指す。	7.0冊 H29(2017)年度	8.0冊 R4(2022)年度	15.0冊 R10(2028)年度



### 具体的施策 32 青少年健全育成

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 32-1 青少年リーダー (中高生)の登録者数	平成 29 年度実績値から青少年リーダーとして登録している中高生を毎年 1 人以上増加させることで、令和 10 年度までに 20 人を目指す。	8 人 H29(2017)年度	8 人 R4(2022)年度	20 人 R10(2028)年度
KPI 32-2 地域の行事に参加 している 6 年生の割合	全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した 6 年生・9 年生の割合。令和 10 年度において 6 年生 100%・9 年生 90%を目指す。	73.8 % H29(2017)年度	60.2 % R5(2023)年度	100.0 % R10(2028)年度
KPI 32-3 地域の行事に参加 している 9 年生の割合		53.4 % H29(2017)年度	34.7 % R5(2023)年度	90.0 % R10(2028)年度

### 基本的方向 17 歴史文化・スポーツ活動の振興

#### 具体的施策 33 文化財

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 33-1 国・県・町指定文 化財及び国登録文化財 の件数	平成 29 年度実績値から令和 10 年度までに新たに 8 件の指定を目指す。	20 件 H29(2017)年度	21 件 R4(2022)年度	28 件 R10(2028)年度
KPI 33-2 観光協会やボラン ティアガイドによる文化 財の年間観光案内人数	令和 10 年度において、平成 29 年度実績値の概ね倍増を目指す。	4,618 人 H29(2017)年度	2,636 人 R4(2022)年度	10,000 人 R10(2028)年度

#### 具体的施策 34 文化・芸術活動

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 34-1 町主催の文化事業 の来場者数	町主催の文化事業（「ムジークフェストなら in 王寺」含む）について、令和 10 年度において、来場者数 6,250 人を目指す。	5,466 人 H29(2017)年度	2,861 人 R4(2022)年度	6,250 人 R10(2028)年度
KPI 34-2 「音楽のあるまち づくり」団体加入者数	「音楽のあるまちづくり」団体の加入者を毎年約 3 人増加させることで、令和 10 年度において、加入者数 165 人を目指す。	129 人 H29(2017)年度	147 人 R4(2022)年度	165 人 R10(2028)年度

#### 具体的施策 35 スポーツ・レクリエーション

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
KPI 35-1 「総合型地域倶楽 部王寺やわらぎトラ スト」の年間参加者数	令和 10 年度にかけて、平成 29 年度実績値から毎年 100 人の増加を目指す。	2,919 人 H29(2017)年度	2,436 人 R4(2022)年度	4,100 人 R10(2028)年度
KPI 35-2 町内体育施設の年 間利用者数	令和 10 年度において、平成 29 年度実績値から 20%の増加を目指す。	282,210 人 H29(2017)年度	210,966 人 R4(2022)年度	340,000 人 R10(2028)年度



## 基本目標6 活力とにぎわいのあるまちづくり

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
数値目標 6(1) 王寺町内での新規起業 件数 [累計]	新規起業により王寺町商工会に加盟 した事業者の件数。令和 6 年度から 10 年度にかけて、毎年 5 件の新規起業を 目指す。	—	22 件 H30(2018)～ R4(2022)年度	45 件 R10(2028)年度
数値目標 6(2)【2(1)再 掲】 人口の社会増 [累計]	町人口ビジョンにおける町独自人口 シミュレーションに基づき、人口の社 会増(転入者数－転出者数)±0 の維持 を目指す。	—	9 人 R2(2020)～ R4(2022)年度	±0 を維持 R10(2028)年度
数値目標 6(3) 町の観光入込客数	王寺町の観光入込客数について、令和 10 年において、令和 4 年現状値の 1.5 倍を目指す。	11,184 人 H29(2017) 年	179,215 人 R4(2022)年	270,000 人 R10(2028)年
数値目標 6(4) 町内宿泊者数	令和 10 年度において、「東横 INN 奈良 王寺駅南口」の稼働率 85%を目指す。	18,845 人 R2(2020)年度	63,543 人 R4(2022)年度	70,000 人 R10(2028)年度

### 基本的方向 18 活力の創出

#### 具体的施策 36 産業・雇用

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 36-1 町内の事業所数	平成 28 年度実績値から 2 年で 5 事業 所のペースでの増加を目指し、令和 10 年度において、887 事業所を目指す。	857 事業所 H28(2016)年度	772 事業所 R3(2021)年度	887 事業所 R10(2028)年度
36-1 補助指標 開業届提出件数 [累計]	令和 6 年度から 10 年度にかけて、毎 年 20 件の開業届提出件数を目指す。	—	—	100 件 R6～R10(2028)年度
K P I 36-2 町内の事業所の従 業員数	平成 28 年度実績値から毎年 30 人の増 加を目指し、令和 10 年度において、 8,230 人を目指す。	7,861 人 H28(2016)年度	7,461 人 R3(2021)年度	8,230 人 R10(2028)年度
36-2 補助指標 町内で行われる「就職 説明会」の参加者数	奈良労働局主催の「就職説明会」につ いて、令和 10 年度において、現状値の 2 倍の参加者数(100 人)を目指す。	57 人 R1(2019)年度	50 人 R4(2022)年度	100 人 R10(2028)年度

#### 具体的施策 37 定住促進

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 37-1 王寺町に住み続け たいと思う人の割合	住民アンケート調査で「王寺町に住み 続けたい」と回答した人の割合。令和 10 年において、90%を目指す。	54.9 % H29(2017)年	81.3 % R5(2023)	90.0 % R10(2028)年
37-1 補助指標① 三世代ファミリー一定住支 援補助金利用件数 [累計]	三世代ファミリー一定住支援補助金に ついて、令和 6 年度から 10 年度にか けて、毎年 10 件以上の申請を目指す。	10 件 H29(2017)年度	68 件 R4(2022)年度	130 件 R10(2028)年度
37-1 補助指標② 移住支援金利用件数 [累計]	移住支援金について、令和 6 年度から 10 年度にかけて、毎年 1 件以上の申請 を目指す。	0 件 R2(2020)年度	1 件 R4(2022)年度	8 件 R10(2028)年度

### 基本的方向 19 交流の促進

#### 具体的施策 38 観光・交流

指標	指標の内容	実績値	現状値	目標値
K P I 38-1 明神山の来訪者数	令和 10 年において来訪者数 100,000 人を目指す。	71,242 人 R1(2019)年	70,899 人 R4(2022)年	100,000 人 R10(2028)年
K P I 38-2 達磨寺来訪者数	令和 10 年において来訪者数 30,000 人 を目指す。	10,086 人 H30(2018)年	10,827 人 R4(2022)年	30,000 人 R10(2028)年